対話から始まった市民活動が家族の安心感を創り出す

福島県南相馬 走れ南相馬!!&みんな共和国 近藤能之(ヨシユキ)

2013.6.21

避難するのか? それとも 現地で生きるのか?

- ◎大事なことは、『どう前向きに生きるのか?』
- ⇒避難して前向きに生きられる人もいれば、 現地に残って前向きに生きようとする人もいる

現地で前向きに生きようとする人たちのために 生きる環境を創り出すことはできないのか!?

乳幼児宅の除染サポート

現在は、保育園園児宅の除染にボランティアと一緒に週末、取り組んでいます。



家族で考える・対話する場のプロデュース

に

•南相馬ダイアログ(2/18開催)にて

「お父さん会議」



「お母さん会議」 家族を守るため



これからは、

"安全"論議よりも"安心感"の創出

- ・ 乳幼児からお年寄りまでそれぞれの世代が その施設内で安心して一日を過ごすことが できる『屋内外の複合型(遊戯)施設』が南相 馬市には早急に必要!!と多くの声が挙がる
- 2012年の春頃までは、「屋内」でなければ安 心感はなかった
- 特に、乳幼児を持つ親の安心感作りが急務であった

【インドアパーク南相馬】開園まで

- ①現地サポート(物件探し)
- ②現地保護者の声(署名集め)収集



- →南相馬で子育てをする親たちの会との連携
- ③市長と保護者代表との懇談会設定(6/25)
- ④フローレンスと保護者代表との懇談会(5/3・7/11)
 - →現地の状況確認・二一ズ・遊具選定
- ⑤市長とフローレンスとの懇談会設定(7/11)
- ⑥パーク建物・花壇の除染(7/22)
 - →ボランティアと除染を行い線量を下げる



誹謗・中傷に負けない

- 被災者なのになぜ動くのか?
- 行政がやるべきこと/東電がやるべきこと
- 民間人ができることじゃない
- 一人で何ができる?
- もっと数を増やさないと無理
- お役所を敵に回していいことない
- 目立ちたくてやってるんでしょ?
- 南相馬に住むことを助長させている

市民活動による企業誘致の結果



みんな共和国



・ みんなが安心して暮らせる街創りの物語

次は、屋内から屋外への安心感作り



Step

南相馬ダイアログフェスティバル

『こどもが安心して遊べる場を作りたい!!』



みんな共和国in春休み

•2月 •3月 •5月



みんな共和国inゴールデンウィーク

過去2回の屋内開催で、屋外遊びの必要性を痛感。 「市民みんなで作り上げていく」の理念を胸に動き出す。

> 市民みんなで除染&クリーン作戦 •8月 みんな共和国 手のひらを太陽に!大作戦!!

> > 高見公園で開催決定!

誰のために動くのか?

必要としている人のために動く…そう決めたら、数にはこだわらない。数より質の問題だから。 3割賛成、7割反対だとしても、その3割の時点で動き始めなければ間に合わなくなる。

- ⇒震災後、スピード感が特に求められる
- ⇒何も変わらないこと…が一番怖いこと
- ⇒必要なモノを 必要な時に 必要な人に!!



テレビ・新聞での報道により避難者は 南相馬が動いていることを知る





目的は公園を作ることではない

- 公園を作ることはあくまで手段であり、目的ではない。
- 目的は、"安心感を創り出す"こと。
- 関わった人が感動を共有できること。
- 人に作ってもらう安心感ではなく、市民自らが 動いて創り出した安心感にこそ意味がある。
- ・ 市民と企業・団体が直接つながって創る公園
- 行政には依存せず、フォローを求める

次は水への安心感創り



日本全国の熱い思いがつながって創る

クラウドファンディング「READY FOR?」の活用

